

いし かり がわ
石狩川流域のとりくみ



北海道滝川市長
前 田 康 吉



1. 滝川市の紹介



○北海道のほぼ中央部、石狩川と空知川に挟まれた平野部に広がり土地はおおむね平坦で、ゆるやかな丘陵地帯。気候は、夏と冬の気温の差が激しい内陸性気候で、夏は気温30℃、冬はマイナス20℃を超えることがあり、雪は11月下旬から降り始め、多いときは降雪量が9メートルにまで達する特別豪雪地帯となっている。

○古くから交通の要衝として栄え、明治31年には滝川以北の函館本線が開通し、大正2年には滝川ー富良野間を結ぶ根室本線が開通。また、南北を縦断し札幌市や旭川市に接続する国道12号線（滝川ー美幌間では直線として日本一長い区間(29.2km)がある）、滝川を起点に道東へと結ぶ国道38号線、日本海につながる国道451号線と主要国道が3本通っており、道央自動車道滝川インターチェンジもあることから道内観光名所へのアクセスは抜群である。

車高よりはるかに高い積雪



満開の菜の花畑の様子

○観光・名産としては、なたね栽培が盛んで、滝川市江部乙エリアでは日本有数の作付面積を誇る菜の花の畑があり、毎年5月から6月にかけてまだ雪が残る樺戸連山（暑寒別連峰）を背景に空のブルーと菜の花のイエローが絶景の「菜の花まつり」が開かれる。

○北海道民のソウルフード、ジンギスカンには「タレ漬け肉」と「タレ後付け」があり、タレ漬け肉の発祥は滝川といわれている。大正時代、国の羊毛自給計画から滝川に種羊場を開設。羊肉活用法としてジンギスカンが生まれ、各地に広まったと言われている。リソゴなどを使ったオリジナルのタレ漬けジンギスカンは人気。



滝川市のタレ漬けジンギスカン

2. 治水事業による石狩川流域の発展

- 未開の原野であった北海道に、開拓の斧が振り下ろされたのは明治2年。
- 石狩川では、明治43年に本格的な治水事業が開始。河川の捷水路工事(ショートカット)により河川水位を下げ、湿地帯を農耕地や居住地に変えて発展。昭和50年、56年には、石狩川全川が未曾有の大洪水に襲われ、これを契機に堤防・ダム・遊水地の整備などさらなる治水事業が推進されてきた。



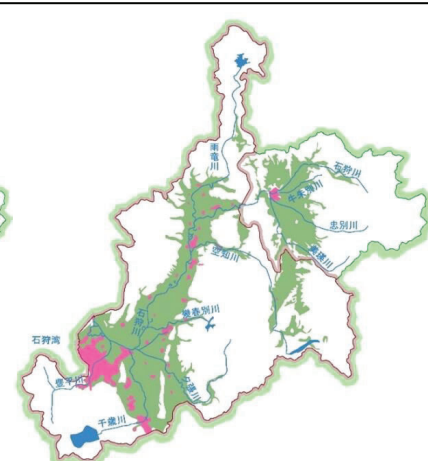
札幌市



明治30年頃



昭和30年頃



現在

耕地面積 約7倍、市街地面積 約43倍

(参考) 石狩川の治水

- 明治2年、明治政府は蝦夷地を北海道と改め、本格的な拓殖が始まる。
- 明治31年、石狩川の洪水史上最悪の大洪水が発生。被災家屋1万9千戸、死者112名となった。
- 同年、北海道治水調査委員会が設置され、北海道で初めて治水計画策定のための調査が開始。
- 明治43年、石狩川の本格的な治水事業が始まり、大正7年から捷水路（しょうすいろ）事業が開始。
- 以降、捷水路事業が順次進められるとともに、河川総合開発事業としてのダム事業が始まる。
- 戦時中の昭和18年、北海道の先進例となる大規模な水力発電の開発として雨竜第1ダムが完成し、昭和28年には、雨竜川鷹泊ダム（かんがい・発電目的）、昭和32年には桂沢ダム（洪水調節目的）、昭和42年には金山ダム（洪水調節目的）などが相次いで完成を迎えた。
- 昭和44年には、石狩川最後の捷水路である砂川捷水路が通水。29箇所の捷水路により河道の長さは約60km短縮、自然短縮により約16km短縮された。
- その後も治水事業が進められてきたが、洪水被害も多く、昭和56年には石狩川全川にわたり未曾有の大洪水に襲われ、被害家屋約22,500戸、浸水面積約614km²、15箇所で堤防決壊となった。
- この洪水を契機に、さらなる治水事業の推進が必要となり、洪水調整機能として、豊平川、夕張川、幾春別川、忠別川の支川のダムや平野内遊水池が位置づけられ、定山渓ダム（平成2年度完成）、砂川遊水池（平成7年度完成）、忠別ダム（平成19年度完成）、夕張シューパロダム（平成26年度完成）、新桂沢ダム（令和5年度完成）、北村遊水池（令和12年度完成予定）、雨竜川ダム再生事業（令和5年建設着手）など、総合的な治水対策が今も進められている。



昭和56年8月洪水

(左) 石狩川右岸 下新篠津築堤の氾濫状況（江別市）



(右) 石狩川右岸 美登位上流築堤篠津鉄道橋下流の氾濫状況（江別市）



(左) 新桂沢ダム



令和6年3月完成

(右) 北村遊水池（整備中）

3. 石狩川流域の概要

- 石狩川流域は、高速道路や主要国道、鉄道など主要交通施設が縦貫するとともに、新千歳空港、丘珠空港が流域及びその近郊に位置している。また、日本海側に道央圏の物流・産業拠点の役割を果たす重要港湾の石狩湾新港があるなど北海道の交通の要衝となっている。
- 全国に占める北海道の農地面積は約1／4であり、全国の食糧供給を担う石狩川流域では全道の約7割(800万人分)の米を生産している。

■ 全国の食料供給を担う石狩川流域

【石狩川流域の代表的な農作物】

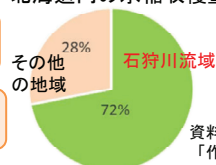
幌加内町のそば
全国1位の収穫量

長沼町の大豆
全国1位の生産量

江別市のレタス
全道1位の産出額

岩見沢市のはくさい
全道1位の収穫量

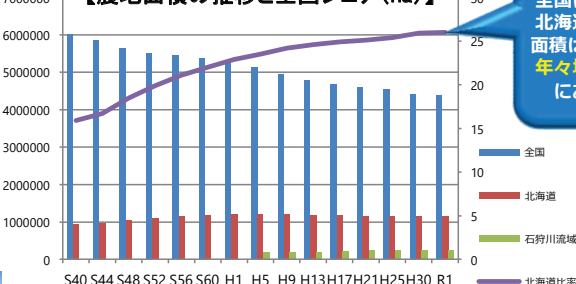
北海道内の水稲収穫量



資料：農林水産省
「作物統計調査」
より(令和6年)

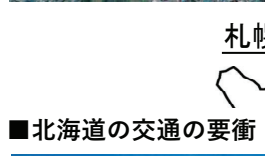
■ 農地面積の増加

【農地面積の推移と全国シェア(ha)】



全国に占める
北海道の農地
面積は約1/4、
年々増加傾向
にある。

■ 北海道の経済を担う札幌都市圏



■ 北海道第2位の都市旭川市



■ 北海道の交通の要衝



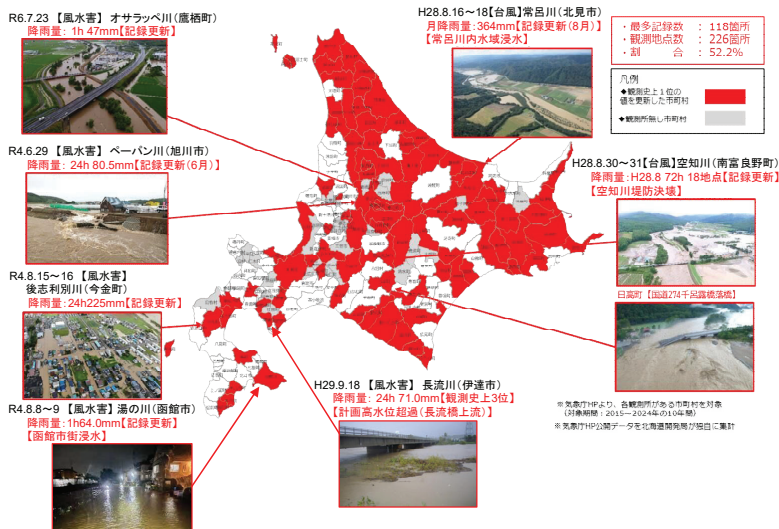
■ 食を支える生産空間



4. 北海道における水災害の頻発化・激甚化①

- 時間雨量50mmを超える短時間強雨の発生件数が増加。
- 北海道は、全国の他の地域と比べて気候変動の影響が大きく、更なる水災害の激甚化・頻発化が懸念。

道内のアメダス雨量観測所（全226箇所）のうち、**1時間降水量または24時間降水量が観測史上1位の値を更新した地点が、直近10年間で118箇所（約52%）**あり、各地で大雨による被害が発生。

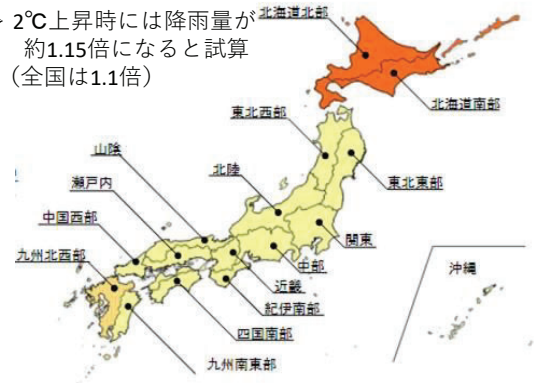


＜将来の気候変動による降雨量変化倍率＞

地域区分	2℃上昇	4℃上昇	
		短時間	
北海道北部、北海道南部	1.15	1.4	1.5
九州北西部	1.1	1.4	1.5
その他（沖縄含む）地域	1.1	1.2	1.3

➢ 北海道は、全国に比べ気候変動の影響が大きい

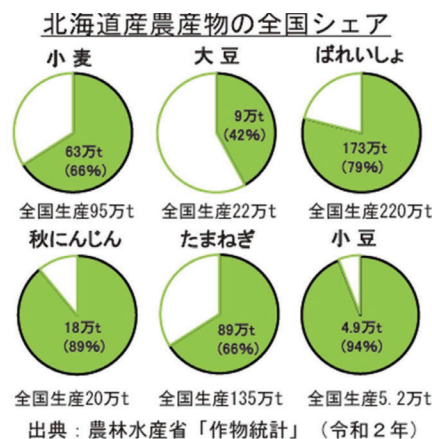
➢ 2℃上昇時には降雨量が約1.15倍になると試算（全国は1.1倍）



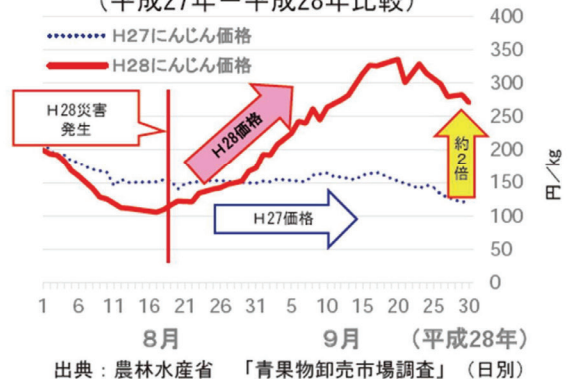
5

4. 北海道における水災害の頻発化・激甚化②

- 平成28年8月17日から23日の1週間に、台風第7号、第11号、第9号と3個の台風が相次いで北海道に上陸し、道東を中心に大雨による河川の氾濫や土砂災害が発生。さらにその1週間後、台風第10号が太平洋側から岩手県に上陸し、北海道に記録的な大雨をもたらした。
- 市街地や農地、道路や鉄道等が甚大な被害を受け、国内最大の食料供給基地における被害は、農作物の価格高騰など、全国にも影響を及ぼした。



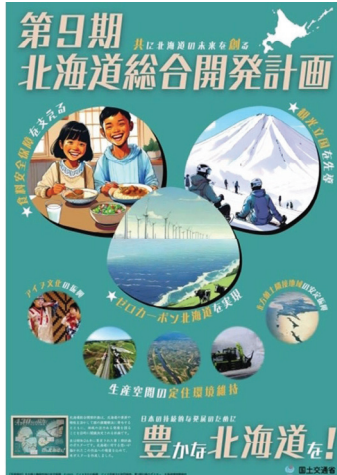
全国主要卸売市場のにんじん価格の推移（平成27年ー平成28年比較）



6

5. 北海道総合開発計画

- 昨年3月に閣議決定された「第9期北海道総合開発計画」は、食料安全保障や2050カーボンニュートラル等の我が国が直面する課題の解決のため、高い食料供給力や豊富な再生可能エネルギーポテンシャルなどの北海道の価値を最大化するとともに、北海道の価値を生み出す地方部の生産空間の定住環境を維持することを目的。
- そのため、頻発化・激甚化する災害から、「生産空間を守り、安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり」が施策として位置づけられている。



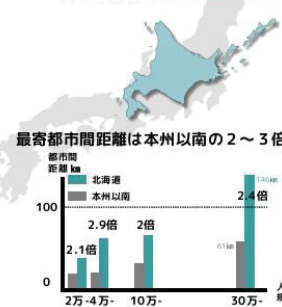
高い食料供給力、魅力的な観光資源、豊富な再生可能エネルギーなどの、北海道の価値を生み出す地域「生産空間」は主に地方部に存在しています。

● 北海道の価値を生む「生産空間」の分布



● 北海道の生産空間の構造的課題

【マクロ（都市間）の視点】



～定住環境の厳しさ～

【ミクロ（集落内）の視点】

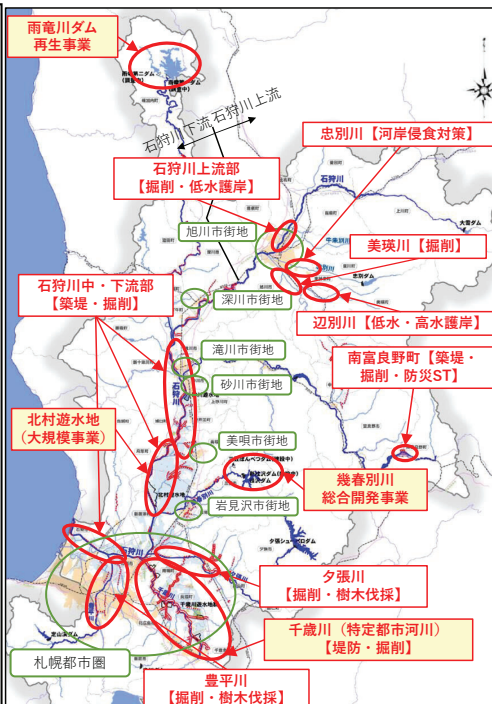


人口減少が進む中で定住環境を維持するには、時間・距離を縮めるネットワークの強化とデジタル技術の活用が必要です。さらに、積雪寒冷の厳しい気候、激甚化・頻発化する自然災害、海溝型地震への対応として国土強靱化を急ぐ必要があります。

7

6. 石狩川的主要治水事業

主要治水事業



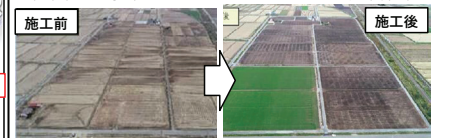
流域治水の取組

■ 北海道米の主要生産地である石狩川流域の広大な水田地帯の立地を生かした貯留機能の向上

石狩川流域47市町村の内、28市町村が田んぼダムの取り組みを実施



区画整理事業+田んぼダムによる水田貯留機能向上



■ グリーンインフラの取り組み ■ 雨水貯留施設整備



■ ソフト対策



8

7. 「石狩川流域圏会議」の設立

設立年月日：平成23年11月28日

国土交通大臣政務官 道内関係衆参国會議員
北海道開発局長・関係職員 北海道副知事・関係職員
流域46市町村首長等 総勢85名の出席のもと設立

設立趣旨（抜粋）

・開拓の歴史は、石狩川の氾濫との闘いという辛い歴史

・明治43年に石狩川治水事務所を設置し、
初代所長に岡崎文吉氏が就任
・本格的な治水事業が行われてから
平成22年で100年という節目



・次の100年は、同じ水系環境に属する流域圏という視点に立ち、近年の気候変動に伴う異常気象など新たな水害の脅威に対する備えを確実に準備し、大規模な災害には流域市町村の連携による防災対応を行うなど、より安全で安心な暮らしを目指します。

・流域圏の行動が、流域圏に住むすべての住民の幸福のために、流域圏の市町村のトップリーダーが一同に会し、政府機関をはじめ、企業や投資家など多様な分野で活躍されるリーダーの皆様を招くなどして、世界に広がるヒューマン・ネットワークを構築することで、流域圏の魅力や可能性を導き出し、次の100年に向け、「石狩川流域の新たな挑戦」に挑んでいきます。

9

8. 石狩川流域圏会議の主な活動

○令和7年度 石狩川流域圏会議 総会



○国土交通省
水管理・国土保全局治水課長の講演



○北海道科学大学工学部和田教授の講演



○石狩川治水促進期成会、
北海道河川環境整備促進協議会、
北海道千歳川水系治水連絡協議会、
石狩川流域圏会議 合同シンポジウム



○豪雨災害対策職員研修



○サイクルツーリズムの推進



サイクルツーリズム推進WG

新千歳空港での調査



サイクルルート走行会

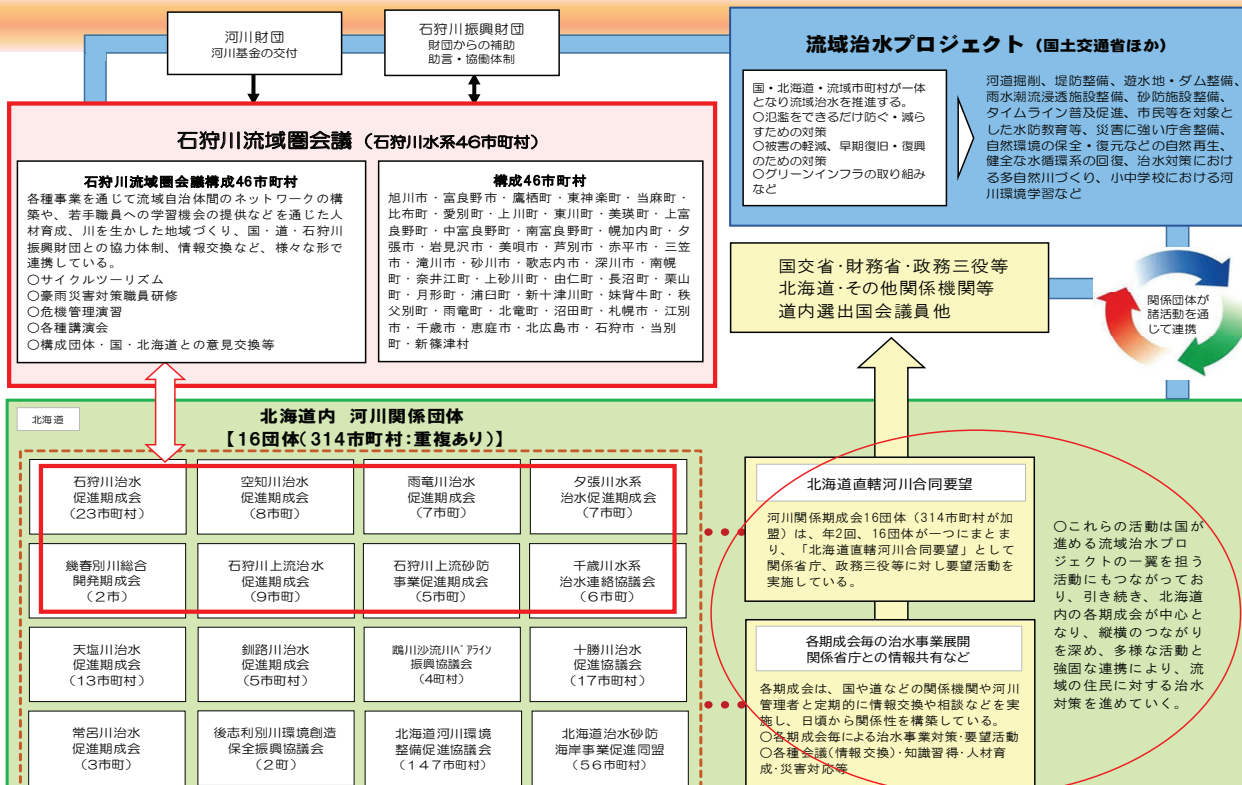


10

8. 石狩川流域圏会議の主な活動



11



12

9. 石狩川滝川地区水害タイムラインの策定



13

9. 石狩川滝川地区水害タイムラインの策定

●タイムライン導入のきっかけ

- ①気候変動等による水害リスクの高まり
 - ②大規模災害対応を経験する職員の減少
 - ③浸水想定区域内に市庁舎が…※
- ※災対法の改正によるハザードマップの見直しによる

石狩川が氾濫した場合の被害想定

浸水想定面積	約25km ²
被災人口	16,500人
床上浸水世帯	6,300世帯
床下浸水世帯	1,200世帯
浸水世帯合計	7,500世帯
被害額	4,300億円



14

9. 石狩川滝川地区水害タイムラインの策定

●石狩川滝川地区水害タイムラインの検討

●検討経緯

日 程	会 議 名	内 容
平成27年10月30日	発足式	現地視察、講演
平成27年11月26日	第1回検討会	講演・全体ワークショップ
平成28年 1月21日～ 7月 6日	第2回～第6回	対応行動の抽出・行動項目～試行運用版の作成
平成28年 8月 3日	完成報告会・協定式	試行版の完成、協定締結（試行的運用開始）
平成29年 1月19日～令和元年 8月19日	第7回～第11回	試行的運用のPDCAサイクル（振り返り→改善）
令和 3年 2月25日	第12回	運用主体を滝川市に移行し、本格運用開始

●参加機関

参画機関（36機関）

北海道開発局札幌開発建設部、札幌管区気象台、北海道、滝川警察署、滝川地区広域消防事務組合、滝川消防団、陸上自衛隊滝川駐屯地、土地改良区、北海道電力、滝川ガス、中空知広域水道企業団、NTT東日本、エフエムなかそらち、JR北海道、中央バス、NEXCO東日本、建設協会、日本赤十字社、社会福祉協議会、民生委員、滝川市医師会、自主防災組織（2）、町内会（12）、滝川市



第12回の様子（WEB開催）



15

9. 石狩川滝川地区水害タイムラインの策定

●タイムライン表

備考	所定時間(分)	滝川市	北海道開発局	札幌管区気象台	北海道	滝川警察署	滝川地区広域消防事務組合	滝川消防団	陸上自衛隊滝川駐屯地	土地改良区	北海道電力	滝川ガス	中空知広域水道企業団	NTT東日本	エフエムなかそらち	JR北海道	中央バス	NEXCO東日本	建設協会	日本赤十字社	社会福祉協議会	民生委員	滝川市医師会	自主防災組織(2)	町内会(12)	滝川市
河川や道路状況を把握するためのパトロールを実施する。	120	▲	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3-26 警戒規制の実施																										
3-27 アンダーパスの通行止め(内水)の実施																										
3-28 早期通行止め(内水)の実施	60																									
3-29 速度規制の実施																										
3-30 乗客への通行止めの指示	60																									
3-31 現場の人員配置の実施	30																									
3-32 通行止めの実施	60																									
3-33 警戒区域の設定																										
3-34 通行止めの現場管理の要請	20																									
3-35 通行止め中のパトロールの実施	随時																									
3-36 迂回路の設定	60																									
3-37 案内板の設置	60																									
3-38 道路管理情報システムの作動開始を指示	60																									
3-39 緊急輸送路の確保	30																									
3-40 【情】通行止め・迂回路の周知	30																									
3-41 【情】各交通管理者間での情報共有	120																									
3-42 【情】関係者へのI-FAXによる周知	30																									

▲横軸では、時間軸に対する各機関の役割・連携を可視化

拡大

◀時間軸では災害対応時になすべきことを時系列でリスト化

拡大

16

9. 石狩川滝川地区水害タイムラインの策定

●持続可能なタイムライン防災に向けて

○防災基本計画（防災基本計画に「タイムライン防災」が位置づけられる（努力義務化 R4.6））

国（国土交通省等）、地方公共団体等の防災関係機関は、他の関係機関と連携の上、災害時に発生する状況を予め想定し、各機関が実施する災害対応を時系列で整理した防災行動計画（タイムライン）を作成するよう努めるものとする。

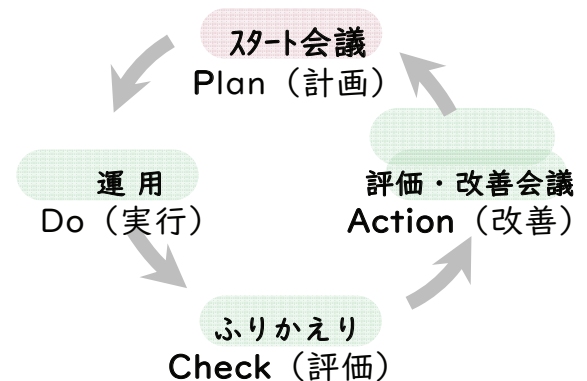
滝川市地域防災計画に石狩川滝川地区水害タイムラインを位置づけ（R2.3）

○タイムラインの運用

タイムラインによって「見える化」された防災行動や連携方策、担当者間の顔の見える関係性が重要。

いつ発生するかわからない災害に備えて、継続的に訓練等を行い、行動内容の確認や担当者間の連携維持が不可欠。

P D C A サイクルによってタイムラインの必要な改善を図り、より取り組みやすく、そして防災効果が期待できるタイムラインを目指す。



17

10. まとめ

- 北海道最大の大河川である石狩川は氾濫との闘いという大変厳しい環境であった。
- しかし、先人のたゆまぬ努力により、川との共生は少しずつ、着実に進んできた。
- 長い歴史を経て創られてきた技術力は、治水対策をさらに進化させ、地域住民のくらしは格段に快適さを増し、道内の経済発展につながった。
- 石狩川の治水事業開始から100年を契機とし、次の100年を見据え、様々な機会を通じて流域46市町村が連携していくために「石狩川流域圏会議」を設立した。
- 国の多大なる支援によって道内で先駆けて策定した石狩川滝川地区水害タイムラインは、有事の際に多機関が連携することが可能となり、今後、さらなる進化を遂げることで住民の安全性を高めていけることを望む。
- 環境の変化が著しいからこそ、河川管理者、地方自治体が一丸となって、地域住民のために水害の危険性を少しでも軽減し、安全・安心な暮らしへと結びつける努力は惜しんではない。
- 北海道河川団体のこれまでの、そして、これからの取り組みが全国の流域治水プロジェクトの下支えとなり、全国の自治体と連携して活発な取り組みへと変化することで、より、「災害に強い日本」へと進化していくことを強く望む。

18

11. 北海道滝川市のPR



19

● そらぶちとは

そらぶちキッズキャンプは
日本ではじめての
「病氣とたたかう子どもたちのための
自然体験施設」実現に向けたプロジェクトです。
「外で遊びたい」という子どもたちの夢の実現。
自然の中でのかけがえのない体験が
明日への生きる力になります。

What's Sorabuchi Kids' Camp?

● そらぶちキッズキャンプとは？

そらぶちキッズキャンプとは？ “そらぶち”とはアイヌ語で“滝下る川”という意味でキャンプ地のある北海道滝川市の由来となった言葉です。

日本国内に約20万人いるといわれている小児がんや心臓病などの難病とたたかう子どもたち。そらぶちキッズキャンプは医療施設を完備し、特別に配慮されたキャンプ施設や自然体験プログラムを設けた、子どもたちの夢のキャンプを創っています。病氣の子どもたちとその家族が、自然の中で病氣のことを忘れ、笑顔で楽しいときを過ごし、「楽しい思い出」「すばらしい仲間」「生きる力」「希望」を得ることができる場所を提供したいと考えます。



目的・経緯・歩み

日本には小児がんなどの難病とたたかっている子どもたちが、約20万人いると言われています...

● つづきを読む

シリアスファンについて

公益財団法人そらぶちキッズキャンプは、シリアスファン・タルドレンズネットワークから、「認定...

● つづきを読む

自然体験プログラム

自然体験プログラムの対象となるのは、難病などの病氣とたたかう子ども（血液、循環器、免疫不全...）

● つづきを読む

滝川市の紹介

そらぶちキッズキャンプのある北海道滝川市は、北海道のほぼ中央部にあり、静かに流れる七戸川と...

● つづきを読む

キャンプエリアの紹介



マップ

医療棟やホールを兼ねた食堂棟、子どもたちが一緒に過ごすための宿泊棟をはじめ、自然を満喫することができるための様々なエリアがあります。

建設状況

2009年にはそらぶちの森内所（事務棟）の利用を始め、2010年には医療棟が完成。食堂棟などの主要施設の建設に着手し、2012年には本格開業を予定中です。

● キャンプエリアの紹介

目的・経緯・歩み

● 難病の子どもたちに自然体験を

日本には小児がんなどの難病とたたかっている子どもたちが、約20万人いると言われています。しかし、国内には難病児を受け入れることのできる医療施設の整った自然体験施設がなく、子どもたちは自然を体験する機会のないまま闘病生活を送っています。

そらぶちキッズキャンプは、難病小児を主たる対象とする自然体験施設の運営に関する事業を行い、難病小児とその家族の「QOL（生活の質）」の向上や、心のケアに寄与することを目的としています。



キャンプでは、難病などの病氣とたたかう子どもたちが、自然の中で、安心して、安全に楽しく過ごせるよう、特別に配慮されたキャンプ施設を、そして自然体験プログラム、医師、看護師、ボランティアによる医療的バックアップを提供し、病氣の子どもやその家族が、病氣のことを忘れ、笑顔で楽しいときを過ごし、「楽しい思い出」「すばらしい仲間」「生きる力」「希望」を得ることを目指しています。

（詳細については【法人の概要について】のページをご覧ください。）

【これまでの歩み（概要整理PDF版）】

20

過去に行われたキャンプの内容をご紹介します



実際にどのようなキャンプが行われているのか、過去に行われたキャンプの中から「2020年ウインター家族キャンプ」の内容をご紹介します。

2020年1月31日～2月3日に3泊4日の家族キャンプが開催されました。小児がんを経験した子どもと家族、4家族19名が広島や東京から雪が積もるキャンプ場に集合。**馬とのふれあいや馬そりなどの馬アクティビティ、冬の森探検（ツリーハウスカフェなど）、巨大かまくら作りなどの雪遊びを楽しみました。**森の中は一面に雪が広がり、ときにはマイナス10度以下の気温の中、たくさんの雪遊びを体験できました。



【写真はそのまま利用できるツリーハウス】



そらぶちキッズキャンプは、これまで「キャンプなんてとても無理」と思っていた難病とたたかう子どもやその家族が、自然体験や仲間との出会いを通してかけがえのない楽しい時間を過ごす場所です。

気軽に楽しめるグライダー体験

たきかわスカイパーク

Takikawa sky park

たきかわスカイパークでは、グライダーの体験飛行ができる。グライダーとは、エンジンを使わずに空を滑るように飛行機。体験時は経験豊富なインストラクターが指導するので、安心してエンジン音のない静寂の空や眼下の景色を楽しめます！

たきかわスカイパーク
所在地：滝川市中央町139-4
TEL 0125-24-3255
※詳しくはHPに掲載。
<https://www.takikawaskypark.jp/takikawaskypark/>

詳しくはこちら /

また見たくなる、四季折々の美しさ

見渡す限りの緑や田んぼ、遠くに見える山並み、田園をゆるゆると流れる石狩川。今、この瞬間にしみ出さうことのできる、色とりどりの景色が広がる。春の風が花を揺らす様子を！

鳥の花フライト（5月中旬～6月上旬）

静寂の中に広がる
北海道の空で
鳥と共に風を感じる

上空では鳥を鳴る音
だけが静かに響く

グライダーはエンジンが付けられていないため、軽飛行機で引っかけられない、難関する。

最大30機ものグライダーを格納している博物館
スカイミュージアム（航空動態博物館）
毎日のように飛び回っているグライダーを展示しているほか、パイロット達とふれあい、申請をすることでコックピットに座ることもできるよ！

休 館 日 / 夏期（4月中旬～11月中旬）無休
冬期（11月中旬～4月中旬）土・日曜日、祝祭日、年末年始

お問い合わせ先
公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会
TEL / 0125-24-3255 FAX / 0125-23-3777
e-mail / sat@skydooch.jp

PICKUP
抽選でグライダー体験飛行が無料！
サマースカイフェスタ
夏の空の一大イベント。体験飛行のほか、モーターグライダーからの空中菓子まきなど、若者男女が楽しめる催しがいっぱい！



水面に浮かび、
心と体が解き放たれる時

ゆったり水上スポーツ体験

滝川市B&G海洋センター

B&G Marine Center

水遊びの舞台は石狩川に流れ込む穏やかな流れのラウズ川。三日月湖でもあるため、水上スポーツにはうってつけの自然環境です。シングルカヌー、ペアカヌーなど種類豊富なほか、ローボートやヨットもあり、大人も子供も楽しめます。

初めてでも安心

常駐の指導員が丁寧にレクチャーしてくれるので、初めての人でも気軽に体験できますよ！



滝川市B&G海洋センター

所在地：滝川市西滝川10

TEL：0125-23-4194

※詳しくはHPに掲載。

<http://www.takikawa-taikyou.jp/kaiyouseenta1.html>

詳しくはこちら



PICKUP

水上体験などが全て無料で楽しめる！

マリンスポーツフェスティバル

年に一度のお楽しみ！夏夏の水の祭典は、カヌー・水上バイク・バナナボート・船外機付きゴムボートの試乗体験のほか、色々なイベントが盛りだくさん！！



石狩川のこころをよくわかる
体験しながら楽しく学ぶ川の科学館

科学の眼で水を探り、川を知る

川の科学館（滝川地区地域防災施設）

River Science Museum

滝川地区地域防災施設は、災害時には地域の防災拠点として活用するため水防資料などを備えています。門を入るとすぐ、石狩川を1/1000の大きさでそのまま再現した「石狩川リバーワーク」。2階には、「自然再生ジオラマ」、川に関する知識をコンピュータが教えてくれるクイズボックスなどがあり、水について学べる図書コーナーのほか、川について楽しみながら学習できる施設です。



自然再生ジオラマで、今の川を昔の川に戻して、自然を再生させる様子を再現しています。



川の科学館

所在地：滝川市西滝川1

TEL：0125-24-0989

※詳しくはHPに掲載。

<https://www.hkd.mlit.go.jp>

詳しくはこちら



8月 たきかわ納涼盆踊り花火大会

夜空に舞う大輪の華

たきかわ納涼盆踊り花火大会は参加して楽しむ盆踊り、見て楽しむ打上花火ともなっている。ちなみにたきかわ納涼盆踊り花火大会では盆踊り・花火大会以外にも様々なイベントも行われています。なおたきかわ納涼盆踊り花火大会は滝川青年会連所が主催して行われています。

9月 たきかわコスモスマラソン

コスモスの咲く頃風を切って駆けぬける

景色の色や風の匂いに秋の訪れを感じながら、自分のペースで走ろう。毎年9月中旬に開催。

お問い合わせ先

一般財団法人 滝川市スポーツ協会

滝川市二の橋町 第3-2-1

滝川市スポーツセンター 第1体育館内

TEL：0125-23-4617



滝川市体育や田舎を走るの気分が味わえるコース！



2月 たきかわ紙袋ランタンフェスティバル

さざやかな冬の楽しみに
たくさんの方が協力して創り出す、感動

滝川出身の世界的デザイナー・彫刻家の五十嵐威成氏がアトリエに住んでいた頃、友人宅へ招かれた際に手作りの紙袋ランタンで歓迎してもらったことが着想となったイベント。2003年、滝川駅前商店街に3千個の灯りが並び、「紙袋ランタンフェスティバル」がスタート。その数は毎年増え、今では1万数千個に。たった1日、それもロウソクが灯りともえる3時間だけの、心に残る灯りともすフェスティバル。

紙袋に絵を描いたり切り込み模様を入れて、楽しみながら思い思いに創作するのとは、子どもからお年寄りまでランタン作りをした人全員が参加になれる冬の楽しみとなっています。毎年2月中旬～下旬開催。



職人の技に触れて、感じて、学ぶ

ものづくり体験

Manufacturing Experience



和紙・千代紙細工体験

日本の伝統文化である和紙は、おびるまや万葉歌といった昔ながらのおもちゃはもちろん、現代の必須アイテムであるスマホケースなど、愛知自在に活用できる。自分だけのオリジナルアイテムを作ってみよう！

漆工工房

所在地：滝川市本町1丁目1-28

TEL：090-3770-1046

営業時間：10:00～18:00

ものづくり職人直々の指導を受けながら、自分だけのオリジナルアイテムを作ることができます。一期一会の物づくりは、大人も子どもも楽しめること間違いなし！



レザークラフト体験

本格的な道具や革を使用し、ペンケースや小物入れなど、多様なアイテムを作ることができます。「人と同じものを持ちたくない」という職人の誇りが、ひとつひとつの作品にアクセントを加えてくれます。

Jamais Vu Cuir (ジャメヴウキール)

所在地：滝川市朝日町東4丁目1-18

TEL：090-7658-8300

営業時間：12:00～20:00



**肉汁とウレのしみこんだ
野菜も美味しい!**

写真提供: 株式会社アイマトン

**北海道民の
ジンギスカン事情**

道民予ならば、思い
出のバーベキューにジ
ンギスカンがある。や
れ花見だ、海水浴
だ、高まりだ、休日
だ、暑い、ビールが飲めたい、口実
はなんでも良い。おにまを握り、
ジンギスカンを大量に買い、家にあ
る野菜や飲み物をたすさえた人々
が集まる。そして昼々
と続くジンギスカン大
会は幕を開けるのだ。

羊肉独特の臭みが苦手な方にも!
羊肉独特の臭いが苦手な方、いますよね。味付ジンギスカ
ンはタマネギ・りんご・香辛料などを使ったタレに羊肉を漬
け込み、とても食べやすくなっているのです。ぜひ、お試しください!

**ジンギスカンの
食べ比べをしよう**

良質なラム肉と天然果汁100%縮低タレを使用
松尾ジンギスカン 滝川本店
所在地: 滝川市南町3-5-12
TEL: 0125-22-2999
営業時間: 11:00~22:00 定休日: 無定休

創業以来、家からぬれは
御小林精肉店 **【お弁当・お惣菜・お惣菜】**
所在地: 滝川市江崎乙町西11-13-34
TEL: 0125-24-1105
営業時間: 10:00~17:30 定休日: 火曜日

南中子浜線の南端ジンギスカンが人気
株式会社アイマトン
所在地: 滝川市南町1-4-25
TEL: 0125-24-1105
営業時間: 9:00~20:00 定休日: 1月1日~1月2日

★市内のスーパー、生鮮お肉・マックス・リョー一・島店・
コープアサヒでも販売しております。

★自給自足でも販売中!
▶市内駅1の花園商店街・コープさっぽろ滝川店がいて



道民の駅たきかわ
所在地: 滝川市江崎乙町東11-13-3
TEL: 0125-29-5600

アイガモカレー
(中食)

アイガモ餃子
ご飯の巻 (3食用)

肉質が柔らかくジューシーで食べやすい!!

あいがも
Aigamo

滝川といえばジンギスカン...という方もいるかと思いますが、実はあいがももここ滝川の名産品。ラーメンそば、
丼ぶり、お鍋と、市内各所でそれぞれのお店のあいがも
料理をご賞味いただけます。

居酒屋 魚一 **あいがもラーメン**
所在地: 滝川市本町2-2-3 三栄ビル1階
TEL: 0125-22-0708

新生園 **あいがもスモーク**
所在地: 滝川市共和町100-13 滝川新生園赤平工場
TEL: 0125-74-6156

お食事処 味のなかた **あいがも鍋**
所在地: 滝川市本町2-1-14
TEL: 0125-22-3805

郷土料理おかむら **あいがも鍋**
所在地: 滝川市本町3-1-8
TEL: 0125-22-4010

丼まんぷく!

ご静聴ありがとうございました。